



平成29年6月1日～23日まで平成29年第2回定例会が行われました。
6月12日(月)、「健康都市おおぶ」の受動喫煙防止対策について、一般質問させていただきました。
一般質問の様子は、大府市議会ホームページのインターネット録画中継でご覧いただけます。

一般質問抜粋 「健康都市おおぶ」の受動喫煙対策 について

質問:「健康都市おおぶ」として受動喫煙防止をどのように考えるか

答弁: 昨年に発表された国立がん研究センターの研究結果において、受動喫煙は、肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群等より患リスクを高めることが明らかにされたほか年間で少なくとも1万5千人、交通事故死亡者の約4倍もの人が、受動喫煙を受けなければ、がん等で死亡せずに済んだとの推計が示された。このように、深刻な健康被害をもたらす受動喫煙の影響から、妊婦や子どもをはじめとした全ての市民を守るための取組が、ますます重要になってきていると考えている。本市では、昭和45年の市制施行以来、まちづくりの基本理念に「健康都市」を掲げ、平成15年の健康増進法の改正以降、受動喫煙防止対策を含めた、たばこによる健康被害を防ぐための取組を積極的に推進している。

質問:「新健康おおぶ 21 プラン第4章、人の健康の重要分野別(たばこ)の指標と取組について」喫煙する成人の割合の現状値はどの程度か

答弁: プラン進捗管理のための「健康都市プログラム」の平成27年の喫煙率の結果では、40歳～74歳の喫煙率は男性31.0%、女性5.9%であり、平成24年時点と比較すると、喫煙率は男性3.4ポイント減少、女性0.5ポイント減少している。

質問:「新健康おおぶ 21 プラン第4章、人の健康の重要分野別(たばこ)の指標と取組について」COPD(慢性閉塞性肺疾患)を知っている人の割合の現状値はどの程度か

答弁: この数値は、新健康おおぶ 21 プランを策定するため、「平成24年度 健康おおぶ 21 プラン生活習慣関連調査」において把握したもので、現状値については、中間評価を行うため、今後、調査していく。

質問:「新健康おおぶ 21 プラン第4章、人の健康の重要分野別(たばこ)の指標と取組について」商店、企業等への施設内・敷地内禁煙実施の働き掛けで、どのような成果があったか

答弁: 健康づくりチャレンジの企業版として、平成27年度から始めた「企業チャレンジ」において、取組項目のひとつに、受動喫煙対策・社内禁煙の推進を掲げており、たばこ対策に取り組んでいただいた。企業チャレンジにエントリーした企業では、受動喫煙対策として、分煙スペースを設置した企業もあり、今後は喫煙者への対策も進めていく予定と伺っている。また、昨年度、禁煙週間に賛同し、秋の敷地内禁煙に取り組んだ企業が5社あり、その他にも、2社から禁煙セミナーの講師依頼をいただいている。

質問: 市役所・市内公共施設に屋外用喫煙ルームを設置する、または、敷地内禁煙にする考えはあるか。

答弁: 喫煙室の出入りの際にたばこの煙が漏れることによる受動喫煙の被害や、喫煙室の設置及び維持管理にかかる費用の問題に加え、敷地内禁煙を実施した場合の撤去費用などの課題があることから、設置する考えはない。市役所・公共施設における禁煙化に、積極的に取り組み、子どもや妊婦が利用されることの多い計器の施設で敷地内禁煙を実施している。国や他の自治体の動向も注視しながら、市役所及び公共施設における受動喫煙対策のさらなる推進について検討していく。

最後に、

たばこの害が、人体に悪影響を及ぼすことから、喫煙しないことが健康に一番であると誰もがご存知のことと思います。たばこを吸われている方を批判するつもりはございません。禁煙することにより、口さみしさから間食をするようになり、体重が増え、またストレスになり体調を崩すこともあるとお聞きします。日本たばこ産業が「たばこは嗜好品」としている限り、きっと自己責任で吸われていることと思うので、百歩譲って、禁煙が必ずしも健康のためとも言えない人もいるのではないかと考えます。しかし、たばこを吸わない人々に迷惑をかけてはいけないものでもあります。

6月5日、政府は受動喫煙の対策を強化する健康増進法改正案について、厚生労働省と与党・自民党との間で細やかな調整が難航を続け、今国会での成立を断念する方針と報道されました。

7日のニュースでは、サッカー日本代表の本田圭祐選手が今国会での改正案見送りについて、「喫煙者を完全否定しているわけではないのだから、次世代のことを考えれば譲歩して成立される事案ではないですか」と疑問を呈するツイートが話題を呼ぶなど、受動喫煙が社会問題になっていることが分かります。

平成29年4月に施行された、「『健康都市おおぶ』みんなの健康づくり推進条例」でも市の責務として、健康づくりを推進するために必要な支援、環境整備に努めなければならないとあります。

「健康都市おおぶ」としては、市長の答弁にもありました、たばこによる健康被害のないまちの実現のためにも、是非、国や他の自治体よりも一歩進んだ、スピード感ある取り組みをしていただける事を願います。

と意見を述べさせていただきました。

● 大府市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

- ・ コンビニエンスストアにおける、住民票等交付サービスの開始に伴い、個人番号カードを利用して、多機能端末機から印鑑登録証明書の交付を受けることができる
(施行期日) 平成29年10月1日

● 工事請負契約の締結について

- ・ 契約の目的 市道柘山大府線道路改良工事
- ・ 契約金額 156,600,000円
- ・ 契約の相手方 大府市横根町大猿尾179番地
大天工業株式会社
代表取締役 青本 多嘉裕

● 財産の取得について

- ・ 取得する財産 災害対応特殊消防ポンプ自動車
- ・ 取得金額 34,882,613円
- ・ 契約の相手方 名古屋市中区栄一丁目16番6号
日本ドライケミカル株式会社名古屋支店
支店長 佐藤 金司

● 平成29年度大府市一般会計補正予算

(単位：千円、%)

会計名	補正前の 予算額	補正 予算額	予算規模	平成28年度 6月補正後予算	差異	差異率
○一般会計	28,773,000	72,768	28,845,768	27,737,366	1,108,402	4.0
○特別会計	12,058,664	0	12,058,664	12,007,054	51,610	0.4
国民健康保険	8,382,341	0	8,382,341	8,352,196	30,145	0.4
公共下水道	2,572,979	0	2,572,979	2,630,708	△57,729	△2.2
農業集落排水	15,408	0	15,408	15,907	△499	△3.1
後期高齢者医療	1,087,936	0	1,087,936	1,008,243	79,693	7.9
○水道事業会計	2,862,763	0	2,862,763	3,816,171	△953,408	△25.0
合計	43,694,427	72,768	43,767,195	43,560,591	206,604	0.5

主な補正内容

- ★土木費 補助幹線道路改良工事増額 6,484万4千円
・ 県道 長草東海線に待避所を2か所設置するため
- ★消防費 消防拠点施設事業 調査測量・設計監理委託料増額 577万8千円
・ 共和出張所の移転

トピックス

※ 5月臨時会において、議会人事が行われました。

議長：早川 高光（自民クラブ） 副議長：三宅 佳典（市民クラブ） 監査：柴崎 智子（公明党）

私は、今年度、建設消防委員会に配属され、副委員長に任命されました。
年間研究テーマ「中小企業振興のアクションプラン進捗状況について」勉強させていただきます。

※「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を発表。
大府市・至学館大学・小型家電リサイクル法の認定事業者が発起人。
携帯電話を始めとした小型家電等から回収したリサイクル金属
(金・銀・銅)を活用し、東京オリンピックメダルを制作。
オリンピック初の試み。



どんなことでも構いませんので、ご意見やご質問などありましたら下記までご連絡ください。



<http://k-hisako.jp>

木下ひさ子後援会事務所

OBU 木下ひさ子

検索

〒474-0035 大府市江端町二丁目88番 TEL/FAX:0562-48-0244 メール:info@k-hisako.jp

